

(9) 教育費

事業名	英語指導員招致事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
担当部署	学校教育課	学事係				
事業費		21,147,577 円		事業の目的・目標 外国から指導助手を招致し、全小中学校を訪問することにより英会話への意欲・ヒアリング能力・コミュニケーション能力を向上させることを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	1,229,823 円				
一般財源	19,917,754 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

4名の外国語指導助手により、市内全小中学校を巡回訪問し、英語指導を行った。
 小学校においては、令和2年度より施行された新学習指導要領により、3・4年生においては週に1回、5・6年生においては週に2回の外国語活動および外国語科の授業の補助を行い、外国語に触れる機会を多く持つとともに外国語を使ったやり取りを楽しむ活動を行った。
 中学校においてはヒアリング能力・英会話能力の向上のための授業補助の他、スピーチコンテストや英語検定受検者へのサポートも行った。

○事業の実績

●小学校・学年別訪問授業時数 1,712 時間 (単位：時間)

	郷田小	渡津小	江津東小	川波小	津宮小	高角小	桜江小
1年生	0	0	2	0	0	0	0
2年生	0	0	3	0	0	0	0
3年生	35	36	35	34	82	33	35
4年生	35	35	36	34	82	32	35
5年生	70	68	70	64	164	67	56
6年生	70	70	73	66	164	67	56
特別支援学級	0	3	0	0	0	0	0
その他全校行事等	0	0	0	0	0	0	0
合計	210	212	219	198	492	199	182

●中学校・学年別訪問授業時数 1,240 時間

	江津中	江東中	青陵中	桜江中
1年生	152	65	63	103
2年生	145	65	102	78
3年生	140	57	95	82
特別支援学級	30	28	6	0
その他全校行事等	6	0	0	23
合計	473	215	266	286

費目	決算額(円)	備考
報酬	15,379,400	外国語指導助手報酬
共済費	2,338,421	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
旅費	526,460	学校訪問旅費、研修旅費
需用費	103,136	教材用消耗品、備品等修繕費
使用料及び賃借料	2,335,680	住宅借上料
負担金補助及び交付金	464,480	自治体国際化協会負担金
合計	21,147,577	

○事業の効果

小学校・中学校ともに外国語の基礎的な表現について外国語指導助手との関わりを通じて学び、学習したことを使って自分の気持ちや考えを伝え合ったり相手にたずねたりすることでコミュニケーションへの関心を高め、意欲的な活動へとつなげることができた。
 市独自に行った中学校3年生に対する意識調査においても「外国語の勉強が好きである」と回答した生徒の割合は昨年度よりも上回った。

事業名	江津市教育研究会助成事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
担当部署	学校教育課	管理係				
事業費		2,720,269 円		事業の目的・目標 「生きる力」をはぐくむ教育を実践するため、教科部会・専門部会等により組織的活動や各種事業を行い、本市の教育の発展に寄与する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	2,700,000 円				
	その他	円				
	一般財源	20,269 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容および実績

●情報教育講演会

- ①演題 「オンライン社会の中学生～考えて欲しいこと～」
- ②講師 NPO法人子どもとメディア 常務理事 古野 陽一 氏
- ③実施日時及び場所
 - 全校区 R2.11.18 18:30～20:00 江津中学校ミーティングルーム
 - 江津中学校区 R2.11.18 14:00～15:30 江津中学校体育館
 - 江東中学校区 R2.11.7 14:00～15:30 江東中学校体育館
 - 青陵中学校区 R3.2.3 14:05～14:55 青陵中学校多目的ホール
 - 桜江中学校区 R3.2.5 13:50～14:40 桜江中学校体育館
- ④参加者 総勢 643名

●江津市教職員研修会

- ・実施日時及び場所
R3.1.29 高角小学校
- ・実施内容
 - ①講義・演習 「新学習指導要領の趣旨を生かした算数科の授業と教材研究」
 - 講師 島根県立大学 人間文学部保育教育学科 教授 齊藤 一弥 氏
 - 対象 市内小中学校教職員 50人

●事業費用

項目	決算額 (円)
1. 島根県小学校校長会負担金補助	154,000
2. 島根県中学校校長会負担金補助	84,000
3. 島根県教育研究会各教科・専門部補助金	218,750
4. 江津市教育研究会研究補助	290,100
5. 児童文化振興費補助金	187,780
6. 教職員研修会補助金	102,000
7. 校内研修会補助金	33,000
8. 江津市学校保健会補助金	160,000
9. 島根県学校保健会補助金	20,000
10. 江津市中学校職場体験事業補助金	120,000
11. 総合学習に伴う補助金 (小・中)	506,000
12. 江津市小中学校資質向上研修補助	10,000
13. 小学校外国語活動充実事業補助	210,550
14. 情報教育講演会開催補助金	450,000
15. 修学旅行等に伴う引率経費補助金	174,089
合計	2,720,269

○事業の効果

教育の充実は、直接の担い手である教員の資質能力に負うところが極めて大きい。そしてその能力は研修等を通じて生涯にわたり形成されていくものであり、本事業はその意味において重要である。

事業名	不登校等支援事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
担当部署	学校教育課	学事係				
事業費		8,981,775 円	事業の目的・目標	教育支援センター（あおぞら学園）において、不登校及び不登校傾向の児童生徒への教育相談や体験活動、学習支援を行い、学校生活への復帰を支援する。 家に引きこもりがちな児童生徒に対しては家庭訪問や安心して過ごせる居場所を提供するなどの支援を行い、学校復帰（社会復帰）のきっかけを作る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	6,013,772 円				
一般財源	2,968,003 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 教科指導員8名・指導員7名
- 開設場所 江津市教育支援センター あおぞら学園（江津保健センター内）
- 開設状況 曜日：月～金曜日 時間：9:30～16:00

- 主な内容
 - ・不登校児童生徒の在籍校、家庭や関係機関と連携しながら、集団生活への適応、基本的な生活習慣の改善等に取り組み、学校復帰への支援を行う。
 - ・児童生徒の抱える悩みに寄り添い、教科指導や体験活動、相談等を通して児童生徒の心の安定、自己理解を図るとともに保護者の支援を行う。

○事業の実績

費目	決算額（円）	備考
報酬	6,320,604	指導員報酬
職員手当等	537,148	期末手当
共済費	875,576	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
旅費	157,670	生徒指導連絡会・家庭訪問等
需用費	832,393	消耗品・燃料費・光熱水費
役務費	158,752	電話料
材料及び賃借料	99,632	AED借り上げ料、コピー機使用料ほか
合計	8,981,775	

- #### ○事業の効果
- ・個々の目標を設定し、集団生活への適応に向けて体験活動や学習支援を行ったことで学校への復帰に前向きな気持ちを持つことができた。
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）への通園日数は、学校長の判断により指導要録上は出席扱いとなる。
 - ・定期的に在籍校と支援方法等を検討する機会を設け、学校復帰へつなげることができた。
 - ・家に引きこもりがちな児童生徒が、外に出るきっかけとなった。
 - ・保護者の抱えている悩みに向き合い、継続して関わることで、保護者及び児童生徒の心の安定を図ることができた。

事業名	学校司書等配置事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
担当部署	学校教育課	学事係				
事業費		10,497,198 円	事業の目的・目標	児童生徒の読書活動の推進及び学校図書館の効果的な活用・運営を図るため、小・中学校に学校司書等の配置を行い、学校図書館機能の充実を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	4,676,000 円				
	地方債	円				
	その他	26,856 円				
一般財源	5,794,342 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

市内全小・中学校に学校司書等（司書資格を問わない）を配置し、児童生徒へ本の紹介・アドバイス・リクエストへの対応、読み聞かせ等を行い、学校図書館機能の充実を図る。また、学校図書館を活用した授業への取り組みを行い、学びを深める場としての学校図書館の活用について実践研究を行った。

● 事業実施校 市内の全小・中学校

- ① 学校図書館支援員【配置時間 2時間/日×5日/週×35週】 2校
江東中学校・桜江中学校
- ② 学校司書等A-1【配置時間 5時間/日×5日/週×35週】 8校
郷田小学校・渡津小学校・江津東小学校・川波小学校・高角小学校・桜江小学校・江津中学校・青陵中学校
- ③ 学校司書等A-2【配置時間 6時間/日×5日/週×35週】 1校
津宮小学校

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
報酬	9,748,200	学校司書報酬
共済費	365,478	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
謝礼金	60,000	研究講師謝礼金
旅費	83,520	司書研修（浜田教育センター等）・公開授業参加
需用費	57,010	研究用消耗品費
図書購入費	182,990	研究用図書購入費
合計	10,497,198	

○事業の効果

「人のいる図書館」の実現により、児童生徒に選書等アドバイスすることで様々な分野の図書への興味関心を引き出すことができ、読書活動の推進につながった。また、学校図書館の環境が整い、児童生徒が楽しく快適に利用できる場所となっている。その結果、児童生徒の読書量は増えており、学校図書館の持つ機能のうち読書センターとしての活用について成果が見られた。

また、司書教諭との連携により、授業で使う本の選定や準備、提供を行い、情報センターとしての学校図書館活用につながった。

さらに、令和2年度は郷田小学校が学校図書館活用教育研究事業に取り組み、学校図書館を活用した授業について研究実践を行った。研究授業を広く公開することにより、それぞれの学校の特色を活かした授業での学校図書館活用への可能性を広げる機会となった。

事業名	スクールソーシャルワーカー活用事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
担当部署	学校教育課	学事係				
事業費		1,148,400 円	事業の目的・目標	不登校や問題行動等の課題を抱えた児童生徒の背景には複雑に絡み合った周囲の環境が影響していることが多いため、児童生徒の気持ちに寄り添い支援するとともに、専門の関係機関と連携して環境に働きかけ、状況の改善を図り、健全育成へとつなげる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	1,020,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源		128,400 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 運営体制 スクールソーシャルワーカー 1名
- 配置形態 派遣型
 - ・教育支援センター（あおぞら学園）に配置し、要請のあった学校や家庭に派遣し活動する。
- 活用方法 教育委員会の生徒指導担当指導主事と連携し、困難な状況を抱える児童生徒を把握するとともに、在籍校や家庭への訪問を通して、状況の改善を図る。
- 主な内容
 - ・問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ
 - ・関係機関等のネットワークの構築、連携・調整
 - ・保護者に対する支援・相談、教職員への情報提供

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
報酬	920,500	相談員(1名)報酬
職員手当	148,330	期末手当
共済費	3,000	労災保険料
旅費	76,570	家庭訪問・学校訪問・福祉施設訪問
合計	1,148,400	

- #### ○事業の効果
- ・困難さを抱える児童生徒の家庭を訪問し、学校や教育支援センターへ向かうよう支援した。
 - ・学校や関係機関等とのケース会議に参加し、保護者や児童生徒の思いや状況を伝え、環境の改善に向けて連携を図ることができた。
 - ・悩みを抱えている保護者と向き合い、前向きな気持ちで子どもと接することができるよう継続的に支援した。
 - ・複雑な背景を抱えている児童生徒の家庭に対して、関係機関と連携し、問題解決のためのネットワークづくりを行った。

事業名	指導主事配置事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
担当部署	学校教育課	学事係				
事業費		12,358,036 円	事業の目的・目標	①生徒指導担当指導主事1名を配置し、不登校やいじめ等の課題に学校・関係機関と連携して取り組み、児童生徒の健全育成につなげる。 ②小学校籍と中学校籍の学力育成担当指導主事各1名を配置し、教科全般にわたり教員の授業力向上のための学校訪問を行い、児童生徒の学力育成につなげる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	7,900,000 円				
	その他	円				
	一般財源	4,458,036 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

業務内容	小学校訪問回数	中学校訪問回数	合計
生徒指導支援の学校訪問	77 回	21 回	98 回
授業力向上の学校訪問	186 回	94 回	280 回

○事業の実績

費目	決算額(円)	備考
職員手当等	313,978	指導主事時間外手当
旅費	33,950	学校訪問、諸会議、研修等
需用費	67,108	教材、教育資料等
負担金補助及び交付金	11,943,000	指導主事派遣負担金
合計	12,358,036	

○事業の効果

- ①家庭への働きかけが必要な児童生徒についてはスクールソーシャルワーカーと連絡調整を行いながら福祉・医療等の関係機関との情報共有を元に対応することができた。
- ②不登校(傾向)の児童生徒への対応については在籍校や関係機関と連携し、不登校状態の改善につながった事例があった。
- ③「主体的・対話的で深い学び」のある授業実現の下、児童生徒に学習指導要領で求められる資質・能力が育成できるよう、各校に研究等とも関連付けながら授業改善に向けたアクションプラン作成を依頼した。本プランを基に継続的な学校訪問を行い、課題設定や指導方法等に関する教員の改善意識を高めた。また、各校の求めに応じ研修を実施し、新学習指導要領や学習評価の理解定着に努めた。
- ④アクションプランのPDCAサイクルが推進されるよう、学力調査結果を学校ごとに分析し提供したり、「学力育成担当者会」においてプラン検証方法の説明や情報共有の場を設けたりした。
- ⑤令和2年度より教科化となった小学校外国語、小学校外国語活動、中学校外国語に係る授業力向上に向けて重点的な訪問指導を行った。併せて小中学校の教員を対象とした研修会を行い、学びの系統性・継続性への意識を高めることができた。
- ⑥「スキルアップ研修」として採用6年目程度(講師を含む)までの経験年数の少ない教員を対象に悉皆で訪問し、継続的な支援を行った。
- ⑦GIGAスクール構想による1人1台のタブレット端末利用法に関わる教職員研修、就学支援、幼少連携・接続に関わる推進会議、学校司書等を含む各支援員の研修等、他機関との連絡調整及び企画運営に関わり普及啓発に努めた。

事業名	学校空調整備事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	01	教育総務費
				目	02	事務局費
担当部署	学校教育課	管理係				
事業費		57,448,600 円		事業の目的・目標 全国的に酷暑が続き、熱中症で倒れる児童・生徒が増える中、教育現場におけるエアコン整備が喫緊の課題となっている。主な特別教室へエアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくる。		
財源内訳	国庫支出金	12,785,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	44,600,000 円				
	その他	円				
	一般財源	63,600 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績 事業期間：R2年度からR3年度まで 進捗率：67%
令和4年3月末までに市内小中学校の主な特別教室(音楽室、理科室など)へエアコンを設置する。

●学校別エアコン設置内訳

学校名	設置した主な特別教室		設置数	
			室内機	室外機
郷田小学校	※(理科室、音楽室)		—	—
渡津小学校	理科室	音楽室	4	4
江津東小学校	理科室	音楽室	3	3
川波小学校	※(理科室、音楽室)		—	—
高角小学校	PC室	音楽室	3	3
津宮小学校	※(図工室、音楽室)		—	—
桜江小学校	理科室	音楽室	4	4
江津中学校	理科室(2室)	※(美術室)	4	4
江東中学校	理科室	音楽室	4	4
青陵中学校	理科室(2室)	※(美術室)	4	4
桜江中学校	理科室	音楽室	3	3
整備済み教室数	16	《小学校計》	14	14
令和3年度整備予定	8	《中学校計》	15	15
計画整備教室数	24	《小中合計》	29	29

※…令和3年度実施予定

●事業費

(単位：円)

業務の内容		請負金額	
委託料	実施設計業務	3,300,000	
工事請負費	空調設備整備工事	(機械設備)	33,255,200
		(電気設備)	20,893,400
合計		57,448,600	



渡津小学校 (音楽室)



江津中学校 (理科室1)

○事業の効果

エアコンを整備することにより、児童生徒への暑さの負担を軽減し、より快適な学習環境をつくることができた。

事業名	小学校教育施設整備事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	02	小学校費
				目	01	学校管理費
担当部署	学校教育課	管理係				
事業費		16,815,232 円	事業の目的・目標	市内学校施設については、老朽化が著しく進んでいるものが多くあるため、改修等必要な対策を行い、安全安心な学習環境を確保する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	16,800,000 円				
	その他	円				
一般財源	15,232 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容及び実績

シート防水による屋上防水改修工事を行った。

●建築物の概要

施設 高角小学校 教室棟
 構造 R C造 地上3階
 面積 1,675㎡
 竣工 昭和48年3月
 履歴 H23年度 耐震補強済み

●事業費

使用料及び賃借料 自動車借上料	78,732 円
工事請負費 (高角小学校教室棟屋上防水改修他工事)	16,736,500 円
合計	16,815,232 円

●改修内容

高角小学校教室棟屋上防水改修他工事

【屋上防水改修】

- ・塩化ビニル樹脂系シート防水
 平場部 機械固定工法
 立上部 接着工法

【その他】

- ・1F 土間コンクリート陥没部分補修
- ・2F (特別支援学級) ベランダ手摺隅柱腐食部分取替



【改修前】



【改修後】

○事業の効果

工事を実施したことにより、雨漏りが無くなった。

事業名	小学校教育振興費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	02	小学校費
				目	02	教育振興費
担当部署	学校教育課	管理係・学事係				
事業費		28,443,019 円	事業の目的・目標	小学校教育の振興のため、教材や図書の購入を行うとともに経済的理由により就学困難な児童及び特別支援学級に在籍する児童への援助を行う。		
財源内訳	国庫支出金	1,065,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	718,500 円				
一般財源	26,659,519 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●就学援助事業

区分	決算額 (円)	備考
学用品費等	2,481,895	対象人員 132 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	1,123,320	対象人員 22 人 令和2年度入学予定児童対象
学校給食費	6,654,375	対象人員 131 人
生徒会・PTA会費	463,810	対象人員 114 人
医療費	114,122	対象人員 23 人
特別支援教育費	655,990	対象人員 17 人
合計	11,493,512	

●その他

費目	決算額 (円)	備考
報償費	122,496	入学祝
需用費	8,371,567	教師用教科書・教師用指導書
委託費	1,068,597	配信プリントシステム委託料
原材料費	78,176	生活科等材料費
備品購入費	7,308,671	図書購入費・教材購入費
合計	16,949,507	

○事業の効果

就学援助では、経済的な理由により就学困難な世帯に対し、学校生活を送る上で必要な経費の一部を支給している。これにより、対象世帯の経費負担軽減を図った。

また、小学校において授業等で活用する教材や楽器、理科の実験や観察に使用する備品等の購入、及び学校図書館のための図書の購入を行い、教育環境の向上を図った。

事業名	中学校教育振興費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	03	中学校費
				目	02	教育振興費
担当部署	学校教育課	管理係・学事係				
事業費		19,234,431 円	事業の目的・目標	中学校教育の振興のため、図書や教材の購入を行うとともに経済的事情により就学困難な生徒及び特別支援学級に在籍する生徒への援助を行う。		
財源内訳	国庫支出金	501,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	364,000 円				
一般財源		18,369,431 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

●中学校就学援助事業

区分	決算額 (円)	備考
学用品費等	2,701,845	対象人員 91 人 学用品費・通学用品費・新入学用品費・校外活動費・修学旅行費
新入学用品費 (入学前支給分)	1,560,000	対象人員 26 人 令和2年度入学予定生徒対象
学校給食費	5,108,490	対象人員 91 人
生徒会・PTA会費	733,770	対象人員 91 人
医療費	44,466	対象人員 7 人
特別支援教育費	263,334	対象人員 8 人
合計	10,411,905	

●その他

費目	決算額 (円)	備考
報償費	184,965	卒業記念品
需用費	579,242	教師用教科書・楽器の修繕料
委託費	396,000	配信プリントシステム委託料
原材料費	13,892	技術家庭科等原材料費
備品購入費	6,980,987	図書購入費・教材購入費
負担金補助及び交付金	667,440	桜江中学校遠距離通学生徒通学費補助金
合計	8,822,526	

○事業の効果

就学援助では、経済的な理由により就学困難な世帯に対し、学校生活を送る上で必要な経費の一部を支給している。これにより、対象世帯の経費負担軽減へとつながった。

また、中学校において授業等で活用する教材や楽器、理科の実験や観察に使用する備品等の購入、及び学校図書館のための図書の購入を行い、教育環境の充実を図った。

事業名	図書館運営事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	02	図書館費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		26,443,850 円		事業の目的・目標 市民の文化教養を高めるため、情報化時代にふさわしい多種の図書館資料を収集整備し、市民に自由で公平な利用ができる場を提供する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	2,499,000 円				
	一般財源	23,944,850 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容、実績

費目	金額 (円)	内容
報酬	17,500	図書館協議会委員報酬
旅費	15,600	図書館協議会委員旅費
需用費	1,112,613	光熱水費
役務費	12,204	自動車損害保険料
委託料	22,770,000	指定管理料等
備品購入費	2,499,933	図書購入費
負担金及び交付金	16,000	島根県公共図書館協議会会費等
合計	26,443,850	

●蔵書冊数

区分	蔵書冊数	受入図書	廃棄図書	令和2年度末 蔵書冊数
本館	74,175 冊	1,668 冊	1,091 冊	74,752 冊
桜江分館	16,424 冊	263 冊	1 冊	16,686 冊
計	90,599 冊	1,931 冊	1,092 冊	91,438 冊

※公共図書館調査票に合わせた集計としたため昨年度と蔵書数が一致しない。

●利用状況

区分	本館	桜江分館	移動図書	計
開館日数	265 日	265 日		
入館者数	7,704 人	3,074 人		10,778 人
利用者数	5,098 人	1,312 人		6,410 人
登録者数	842 人	175 人		1,017 人
貸出冊数(個人)	24,626 冊	4,077 冊	26 冊	28,729 冊
貸出冊数(団体)	7,818 冊	233 冊		8,051 冊

※公共図書館調査票に合わせるため集計方法を変更

●文化活動

講座等	会員数	開催日数	開催期日 または定例日
古文書を読む会	23 人	10 回	毎月第1土曜日 14:00~16:00
歴史を楽しむ会	9 人	2 回	毎月第2月曜日 14:00~16:00
本と子育てを語る会	10 人	0 回	毎月第4日曜日 13:30~16:00

●その他

・催し

8/1 (土) ~9/28 (月)	としょかん縁日	参加者 本館14人 分館6人
10/11 (日) ~31 (土)	としょかんまつり (読書週間企画)	
12/23 (水) ~1/16 (土)	福ぶっくろ	参加者 本館50袋 分館30袋
12月中旬~	としょ活	
6月・9月・2月	ええこバック	参加者 22袋
2/1 (月) ~	雑誌の付録もらっちゃおう! 抽選会	参加者 112人 当選11人

・読書普及・文化活動の支援

読み聞かせ支援コーナー設置とブックレット作成 (春・秋・冬)

・その他

江津市図書館協議会 8/19 (水) 委員10名出席
書店注文サービスの開始(令和2年7月~)

○事業の効果

従前の蔵書の充実、文化活動への支援、広報活動などに加え、書店注文サービスを開始するなど、図書館利用者の確保・利便性の向上を図っている。

事業名	人権教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	03	社会人権・同和教育費
担当部署	人権同和教育	人権同和教育係				
事業費		407,208 円	事業の目的・目標	人権尊重、自由平等の精神を基盤に人権・同和問題を正しく理解し、市民一人ひとりが、自らの課題として捉え、早期解決が図られるよう「差別しない」「差別させない」「差別は許さない」心情と態度を育てる。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源	407,208 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

概要	決算額(円)
<p>●みんなで学ぶ人権講座の開催 期間：7月～3月 会場：10地域コミュニティ交流センター 参加者：述べ133人 演題：「ハンセン病から学ぶ人権 ～新型コロナウイルスの今を考える～」</p> <p>●地域別人権問題研修会の開催 12月11日 江津中学校 絵本を通して人権を考える 参加者：264人 12月11日 桜江中学校 絵本を通して人権を考える 参加者：60人 ※江東中学校・青陵中学校は、感染防止のため中止</p> <p>●人権問題学習会の開催 6月12日 郷田小学校 メディアとのつきあい方 参加者：59人(保護者) 12月 3日 渡津小学校 差別の現実学ぶ(同和問題) 参加者：12人(6年他) 3月 4日 津宮小学校 「生きる」ということ(同和問題) 参加者：44人(6年) 3月 4日 桜江小学校 「生きる」ということ(同和問題) 参加者：20人(6年)</p> <p>●人権・同和教育主任等研究協議会の開催(年3回) 内容：全体会(講演・講義)、分散会 テーマ：8/18 自尊感情を育むために 12/1 新型コロナから人権を守るために 2/24 LGBT等の人権を考える 参加者：延べ88人</p>	155,701
<p>●人権啓発作品展の開催(応募数775点 表彰数44点) 期間：12月4日～10日 会場：ゆめタウン江津 内容：人権ポスター・標語・メッセージの展示 表彰式：各学校</p> <p>●人権啓発カレンダーの作成・配布(2,500枚)</p>	140,439
●その他事務・事業	111,068
合計	407,208

○事業の効果

新型コロナウイルス感染症の影響から、講座や学習会は参加人数を制限して開催した。人権啓発作品展は、会場を人の出入りの多いショッピングセンターに変更した。



みんなで考える人権のつどい



人権啓発作品展



主任等研究協議会(全体会)

事業名	社会教育活動費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		767,840 円	事業の目的・目標	生涯の各時期にわたって幅広く学習活動ができるよう、市民の学習要求を満たし、自己啓発がすすめられる集団学習と地域活動を奨励する。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	767,840 円				

施策の内容、実績、及び効果

1 出前講座 93,500 円

○事業の内容

市民が受講したい内容をメニュー表から選び、市職員・公的機関職員等が講師となり地域へ出かけお話しする。

○事業の実績

・実施件数および参加者数

令和2年7月～令和3年3月 95件 2,307人 (令和元年度 116件 2,833人)

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
需用費	93,500	印刷製本費 (出前講座メニュー表)

○事業の効果

市民の行政制度などの理解が深まるとともに、庁内メニューの注文があった担当職員は講座の資料づくりに始まり進行・説明・取りまとめを行うため、事業の習熟、資料のまとめ方や説明力の向上が図られる。

2 地域活動支援事業 600,000 円

○事業の内容

女性の目から見た地域課題の研修や人づくり・地域づくりのための学習活動で、討議、実験、演習、見学など幅広い活動を行う。

実施主体： 江津市連合婦人会、各地域8婦人会

○事業の実績

・実施件数および参加者数

47回 1,439人

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
委託料	600,000	地域活動支援事業委託料 (8地区地域活動200,000円含む)

○事業の効果

各地区の中核とし、様々な問題に女性の感性である包容力をもち備え、「元気・勇気・感動」のいきいきとした町づくりに向け自己研鑽に努め、明るい安全・安心な住んでよかったと言えるような社会づくりに積極的に努めている。

事業名	ふるさと教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		1,287,600 円		事業の目的・目標 学校と家庭とが一体となり、ふるさとの人とのふれあい、自然・歴史・文化・伝統行事・産業等の教育資源を活用した授業や地域での体験活動を通し、子どもたちの豊かな人間性や社会性、ふるさとを大切にする心の育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	1,287,600 円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

全小中学校において実施した。

地域講師による授業が充実し、長年にわたり積み重ねられた学習が生かされてきた。地域の「ひと・もの・こと」に直接関わりながら、それぞれの学校で独特な活動を展開。

小学校では主に、地域に出向き、人や自然に触れたり、施設を訪ね現状を見聞きし、地域の人とのふれあいのなかで、自分たちのふるさとについて学ぶ。

中学校では、地域の課題や社会の問題を知ること、自身の将来設計を考えることにつながり、学習意欲の向上を図る。

○事業の実績

	ふるさと教育の経費（円）		計（円）
	報償費	活動経費	
郷田小学校	10,000	60,000	70,000
渡津小学校	2,400	67,600	70,000
江津東小学校	10,800	59,200	70,000
川波小学校		70,000	70,000
津宮小学校		70,000	70,000
高角小学校		70,000	70,000
桜江小学校	6,600	63,400	70,000
江津中学校		70,000	70,000
江東中学校		70,000	70,000
青陵中学校		70,000	70,000
桜江中学校	3,600	66,400	70,000
教育委員会事業費	70,000	447,600	517,600
計	103,400	1,184,200	1,287,600

○事業の効果

- ・地域とのふれあいで、児童生徒の学習内容の多様化に寄与した。
- ・地域の伝統芸能や、伝統文化の保存・伝承に携わる方に、発表の場を設ける事ができ、今後の活動の活力へつなぐことができた。
- ・ふるさと教育に関わる地域の方も、子どもの成長を目の当たりにして、社会貢献の大切さや、やりがいを実感できた。
- ・ふるさと江津への愛着を深める活動になった。



桜江中学校《1年生 ハザードマップ授業》



郷田小学校《3年生 総合的な学習》
1学期：地域の方と収穫

事業名	学校支援地域本部事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		759,000 円	事業の目的・目標	「学校・家庭・地域」が連携し、地域ぐるみの学校支援体制を構築し、子どもたちの健全な発育に資することを目標とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	506,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源		253,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

近年のいじめ、不登校など、青少年をめぐる様々な問題が発生している背景として、地域における地縁的なつながりの希薄化や個人主義の浸透などによる、いわゆる「地域の教育力の低下」が指摘されている。

また、学校教育においては、教育活動以外の業務等の増加による教員の業務量の増加が問題となっており、教員の勤務負担を軽減するなど、積極的に時間外勤務を縮小し、教員が子ども一人ひとりに対するきめ細やかな指導の時間の確保が課題となっている。

これらを踏まえ、地域全体で「次世代を担う子ども」の学校の教育活動や放課後の活動を支援するため、学校・家庭・地域の連携体制の構築を図り、多様な支援を可能とし、学校・家庭・地域が三位一体となって子どもと向き合う時間の拡充を図る。

○事業の実績

1. 各小中学校における学校支援ボランティアへの取り組み

- ①学習支援活動のボランティア紹介、学校に関わる地域の人材発掘
- ②部活動指導、クラブ活動指導の人材紹介
- ③登下校時の安全指導員の調整
- ④学校環境整備活動の人員確保
- ⑤放課後子ども教室との連携
- ⑥ふるさと教育の講師・ボランティアの紹介

2. 各種研修会への参加

- ・支援活動事業数 : 合計 326 日
- ・参加人数(延べ) : 合計 5,721 人

○事業費の内訳

費目	金額(円)	内容
報償費	342,400	コーディネーター活動謝金
需用費	222,180	会議資料紙代等消耗品
役務費	194,420	ボランティア連絡用切手、ボランティア保険料
計	759,000	

○事業の効果

・地域コーディネーターの活動により、地域コミュニティ組織と連携しながら学校支援活動を行っているところもあり、参加者も増加傾向にある。

・ふるさと教育、放課後支援、キャリア教育にも、コーディネーターが関わるようになり、社会教育事業の核となっている。

事業名	放課後子ども教室推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		4,756,071 円	事業の目的・目標	学校・家庭・地域社会の連携協力により、子ども達が、健やかに過ごすことができる環境を整備すること。子どもとのふれあいを通じて住民同士のつながりを強め地域力のアップにつなげていくこと。保護者自身も、単に便利なサービスを享受する側に回るのではなく、できるだけ積極的に地域の取り組みに関わっていくこと。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	3,170,000 円				
	地方債	円				
	その他	円				
一般財源		1,586,071 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- 放課後子どもプラン事業（放課後子ども教室推進事業）
放課後等に地域のコミュニティ交流センター等を活用して、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強・スポーツ・文化活動・交流活動等の取り組みを行う。

○事業の実績

名称	校区	年間実施日数
・郷田っこひろば	(郷田小学校区)	27 日
・アフタースクールまつひらっこ	(郷田小学校区)	4 日
・渡津子どもひろば	(渡津小学校区)	25 日
・江津東すこやか広場	(江津東小学校区)	162 日
・跡市放課後子どもクラブ	(津宮小学校区)	212 日
・波っ子クラブ	(川波小学校区)	6 日
・有福温泉子ども教室	(川波小学校区)	34 日
・二宮集いの家	(津宮小学校区)	172 日
・つのみやっこ広場	(津宮小学校区)	192 日
・角っこひろば	(高角小学校区)	20 日
・桜江小学校放課後子ども教室	(桜江小学校区)	157 日

○事業費の内訳

費目	金額 (円)	内容
報償費	4,626,300	各教室コーディネーター等謝金
需用費	114,071	各教室消耗品、暖房用燃料等
役務費	15,700	連絡用郵券
計	4,756,071	

○事業の効果

- 学校、家庭、地域が連携することにより、地域で子どもの育ちを支える気運が高まった。
- 放課後子ども教室に参加する子どもは、上級生に面倒を見てもらったり、上級生は下級生の面倒をみるなど、異年齢間の関わりのなかで、相互に成長が見られる。
- 集団で遊ぶことを子どもたちが学び、活発に活動できるようになった。
- そうした子どもたちの成長を目の当たりにして、事業に参画する大人も、社会貢献のやりがいや大切さを感じ、今後の地域活動への活力となった。
- 地域住民の参画：延べ 2,895 人 子どもの参加：延べ 13,908 人

事業名	放課後児童クラブ事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		84,092,718 円	事業の目的・目標	保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童等に対し、適切な遊び及び生活の場を提供して健全な育成を図る。		
財源内訳	国庫支出金	20,907,000 円				
	県支出金	20,907,000 円				
	地方債	円				
	その他	17,409,800 円				
	一般財源	24,868,918 円				

施策の内容、実績、及び効果

○ 事業の内容、実績

費目	金額 (円)	備考
需用費	348,520	消耗品、修繕料 他
役務費	125,118	通信費、手数料、火災保険料 他
委託料	83,619,080	運営委託、浄化槽管理 他
合計	84,092,718	

令和3年3月31日現在

児童クラブ名	入所児童数 (人)					合計
	指導員数	1年	2年	3年	4年～	
津宮放課後児童クラブ	5	28	25	13	0	66
高角放課後児童クラブ	6	19	15	8	1	43
江津東放課後児童クラブ	3	9	9	6	6	30
桜江放課後児童クラブ	3	9	8	6	8	31
渡津放課後児童クラブ	3	12	11	4	5	32
川波放課後児童クラブ	3	7	8	3	5	23
郷田放課後児童クラブ	3	14	6	9	3	32
計	26	98	82	49	28	257

○ 事業の効果

放課後及び長期休業中の子どもの安全で健全な生活の場を提供し、保護者の就労支援に寄与している。

事業名	ふるさとキャリア教育推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		3,930,000 円	事業の目的・目標	地域の「ひと・もの・こと」をいかした学習活動をとおして、ふるさとへの愛着と誇りを育むとともに、今の学びと未来の生活のつながりを常に意識して、子どもたちの自立を目指す教育を推進する。		
財源内訳	国庫支出金	1,965,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	1,965,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ・ 地域や異文化との交流事業
- ・ 地域企業（団体）との連携事業（体験活動など）
- ・ 地域を知るための自然体験・学習活動
- ・ 職場見学、職場体験
- ・ 地域の教育力と連携した放課後、土曜日等に行う学習活動
- ・ 地域の保育・教育施設（異施設種）との横や縦、斜めのつながりを創るための活動
- ・ 先進的な取組みを実施しているキャリア教育に関する研究者・従事者を招いた講演

○事業費 NPO法人てごねっと石見に委託。 委託料 3,930,000円

費目	金額（円）	備 考
委託料	3,930,000	学校活動費・コーディネーター人件費等
合 計	3,930,000	

○事業の効果

- ・ ふるさとの文化や歴史、自然人々について学び、ふるさとへの愛着や誇りを育て、ふるさとへ貢献しようとする意欲と態度を育成することができた。
- ・ 児童、生徒が周囲の人、ふるさとの大切さに気付くとともに、ふるさとに支えられている存在であるということが認識できた。
- ・ 地域の人材が「我がまちの学校」として、学校を末永く支援してくれる体制づくりができた。
- ・ 地域、企業と学校との連携だけでなく、小学校と高等学校、保育所と中学校、大学校などの市内保育・教育機関との連携が活発になった。

事業名	教育の魅力化推進事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	05	社会教育活動費
担当部署	社会教育課	社会教育係				
事業費		8,600,000 円	事業の目的・目標	学校・家庭・地域の連携を図りながら、保育園（認定こども園）・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・大学校という「校種の壁」を越えた一体的・系統的な教育活動を展開し、地域の特色を活かした「教育の魅力化」に取り組む。		
財源内訳	国庫支出金	4,300,000 円				
	県支出金	円				
	地方債	円				
	その他	円				
	一般財源	4,300,000 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

- ① 市内県立高校の魅力化の推進に併せて、市内全域における「教育委の魅力化」の取り組みを総合調整し、「教育の魅力化」に対する地域の機運を醸成する。
- ② 市内小中高校に対して、わくわくエンジン®発見プログラムを実施。
(わくわくナビゲーター養成講座・体験会の開催、市広報誌等による広報活動)

○事業費

- ① NPO法人てごねっと石見に委託。 委託料 4,400,000円

費目	金額(円)	備 考
委託料	4,400,000	高校魅力化コーディネーター業務
合 計	4,400,000	

- ② 合同会社EGAHOUSE&COMPANYに委託。 委託料 4,200,000円

費目	金額(円)	備 考
委託料	4,200,000	統括プロデューサー配置委託料
合 計	4,200,000	

○事業の効果

- ・ ふるさとキャリア教育との連携（親しみや憧れ）による地元高校への進路選択肢の増。
- ・ ふるさとの魅力を伝えること（地域情報の伝達）による進路選択肢の増。

事業名	埋蔵文化財発掘調査事業		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	07	文化財保護費
担当部署	社会教育課	文化スポーツ振興係				
事業費		6,635,638 円		事業の目的・目標 埋蔵文化財を保護し、市民の財産として将来へ引き継ぐ。また、調査を積み重ねて得られた成果を市民に伝えることにより、市民の郷土に対する誇りを高める。		
財源内訳	国庫支出金	2,114,000 円				
	県支出金	1,422,685 円				
	地方債	円				
	その他	599,963 円				
	一般財源	2,498,990 円				

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

文化財保護法に基づく開発事業に伴う埋蔵文化財の取扱いに係る判断基準に則して、必要な埋蔵文化財調査を実施する。また、出土品を適切に取り扱い、活用に資する。

○事業実績

●遺跡発掘調査費

- ・国庫補助事業（45.8%補助）
- ・内容：詳細分布調査、鉄製品保存処理
- ・期間：令和2年4月1日～令和3年3月31日
- ・補助金額：4,612,990円

費目	金額（円）	内容
報酬	2,531,026	パートタイム会計年度任用職員報酬
職員手当等	57,523	会計年度任用職員期末手当
共済費	217,382	雇用保険料・社会保険料・労災保険料
旅費	48,000	普通旅費・会計年度任用職員旅費（パート）
需用費	801,451	消耗品費・光熱水費・印刷製本費・燃料費等
役務費	156,688	通信運搬費・手数料
委託料	633,600	業務委託料（その他）
使用料及び賃借料	167,320	自動車借上料・機械借上料・器材借上料・コピー機等使用料
計	4,612,990	

- ・効果：これまで把握できていなかった甘南備寺山の山城跡を確認した。また、江津本町において、石見焼窯を3D調査した。これらの調査により、江津市の史跡を新発見し、当市の歴史を理解するための資料を得ることができた。

●半田浜遺跡調査事業（発掘調査）

- ・原工務所委託事業（100%補助）
- ・内容：砂採取事業に伴う遺跡（半田浜遺跡）の記録保存を目的とした発掘調査
- ・期間：令和3年1月18日～令和3年2月19日
- ・委託金額：599,963円

費目	金額（円）	内容
報酬	461,263	作業員賃金
報償費	10,000	調査指導
使用料及び賃借料	128,700	調査器材一式
計	599,963	

- ・効果：面積約1000㎡を調査し、古代の遺構・遺物を発見した。遺物はコンテナ1箱の量であり、新たな地域史解明に繋がる資料を得ることができた。

●波積ダム文化財総合調査事業（発掘調査） 繰越分（100%補助）

費目	金額（円）	内容
報酬	389,712	調査補助員・事務補助員・作業員
報償費	10,000	調査指導謝礼金
旅費	3,960	連絡旅費
需用費	4,062	消耗品費・光熱水費・燃料費等
役務費	950,400	電話代・手数料
委託料	64,551	測量・分析委託
計	1,422,685	

- ・効果：中近世の遺構・遺物を発見した岩瀧寺跡の発掘調査の報告書を作成し、300冊を刊行した。また、刊行物を関係各所に送付した。



竹下窯跡の測量調査（遺跡発掘調査費）



半田浜遺跡の本調査・粘土採掘坑
（半田浜調査費）



岩瀧寺跡発掘調査
（波積ダム 繰越明許費）

事業名	社会体育施設管理費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	04	社会教育費
				目	08	生涯学習施設管理費
担当部署	社会教育課	文化スポーツ振興係				
事業費		65,942,967 円		事業の目的・目標 江津中央公園、桜江体育施設、江の川リバーサイドパーク等の体育施設の適切な維持・管理により、市民の体育施設の利用促進を図る。		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他	12,384,510 円				
一般財源	53,558,457 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

江津中央公園、桜江体育施設の維持管理はそれぞれ、指定管理に関する基本協定に基づき、指定管理者と分担し、修繕・改修を行っている。また、江の川リバーサイドパークは、管理運営委員会と分担し、整備等を行っている。

○事業実績

<江津中央公園>

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
使用者 (人)	2,457	791	3,964	6,909	6,936	6,340	8,025
使用料 (円)	272,300	100,940	380,910	546,880	820,940	591,960	1,025,550
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
使用者 (人)	5,001	6,457	3,231	4,340	6,425	60,876 人	
使用料 (円)	699,650	619,380	345,080	563,230	523,930	6,490,750 円	

<桜江体育施設>

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
使用者 (人)	643	50	889	941	829	1,399	1,724
使用料 (円)	29,000	4,470	18,200	40,240	20,430	22,240	47,560
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
使用者 (人)	917	932	638	758	959	10,679 人	
使用料 (円)	22,540	18,970	16,040	19,760	22,180	281,630 円	

<江の川リバーサイドパーク>

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
使用者 (人)	23		425	460	482	511	483
使用料 (円)	2,200		9,200	9,200	11,400	13,600	11,400
区 分	11月	12月	1月	2月	3月	計	
使用者 (人)	460	460	520	520	520	4,864 人	
使用料 (円)	9,200	9,200	11,400	11,400	11,400	109,600 円	

○繰越事業

江津中央公園多目的広場を陸上競技場4種公認認定のため、敷地整備および検定を行った。
陸上競技場のルール改正と新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、整備・検定とも繰越事業となった。

費目	金額 (円)	内容
役務費	85,760	検定手数料
工事請負費	5,808,000	敷地整備工事
合計	5,893,760	

事業名	学校給食費		予算科目	会計	01	一般会計
				款	10	教育費
				項	05	保健体育費
				目	02	学校給食費
担当部署	学校教育課	管理係				
事業費		108,672,678 円		事業の目的・目標 安全安心で栄養バランスを考慮した給食を提供することによって、児童生徒の健やかな成長と、食の重要性、食に関する情報発信等の食育の推進に資することを目的とする。		
財源内訳	国庫支出金	円				
	県支出金	円				
	地方債	2,700,000 円				
	その他	円				
一般財源	105,972,678 円					

施策の内容、実績、及び効果

○事業の内容

	学校名	実施日数（日）	実施食数（食）
配 食 実 績	郷田小学校	191	19,834
	渡津小学校	192	20,925
	江津東小学校	195	20,769
	川波小学校	193	17,708
	津宮小学校	193	62,866
	高角小学校	195	48,681
	桜江小学校	188	23,106
	江津中学校	195	50,265
	江東中学校	197	12,513
	青陵中学校	196	47,381
	桜江中学校	191	12,065
	江津学校給食センター	199	4,052
	桜江学校給食センター	175	1,007
	合 計	2,500	341,172

○事業の実績

節	内容等	金額（円）
報償費	謝礼金	5,000
需用費	光熱水費、消耗品費、修繕料等	28,613,768
役務費	電話料等	2,186,784
委託料	給食車運転業務委託料等	11,258,500
使用料及び賃借料	CATV、印刷機使用料等	660,452
備品購入費	調理用備品等	4,005,463
負担金補助及び交付金	学校給食会運営費	61,772,911
公課費	給食車重量税	169,800
	合 計	108,672,678

○事業の効果

食物アレルギーのある児童生徒に対しては、平成29年3月に策定した「江津市学校給食における食物アレルギー対応ガイドライン」に基づき対応を行っている。また、年2回開催している食物アレルギー対応検討委員会では、学校、小児科医等を交えて情報共有を図るほか、アレルギー対応の一連の流れにおける改善について意見交換を行うことにより、より安全安心な給食の提供に努めている。